



感染症発生時のゾーニング について



令和7年12月9日（火）
上尾中央医科グループ協議会 キャリアサポートセンター
感染管理特定認定看護師
白井 由加里

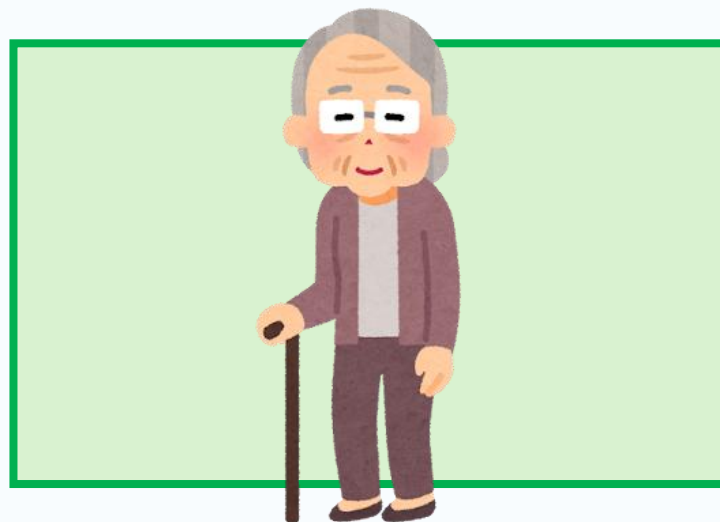
ゾーニングとは

病原体によって

- ・汚染されている区域【**汚染区域**】
- ・汚染されていない区域【**清潔区域**】を区分けすること



ウイルスが存在するエリア



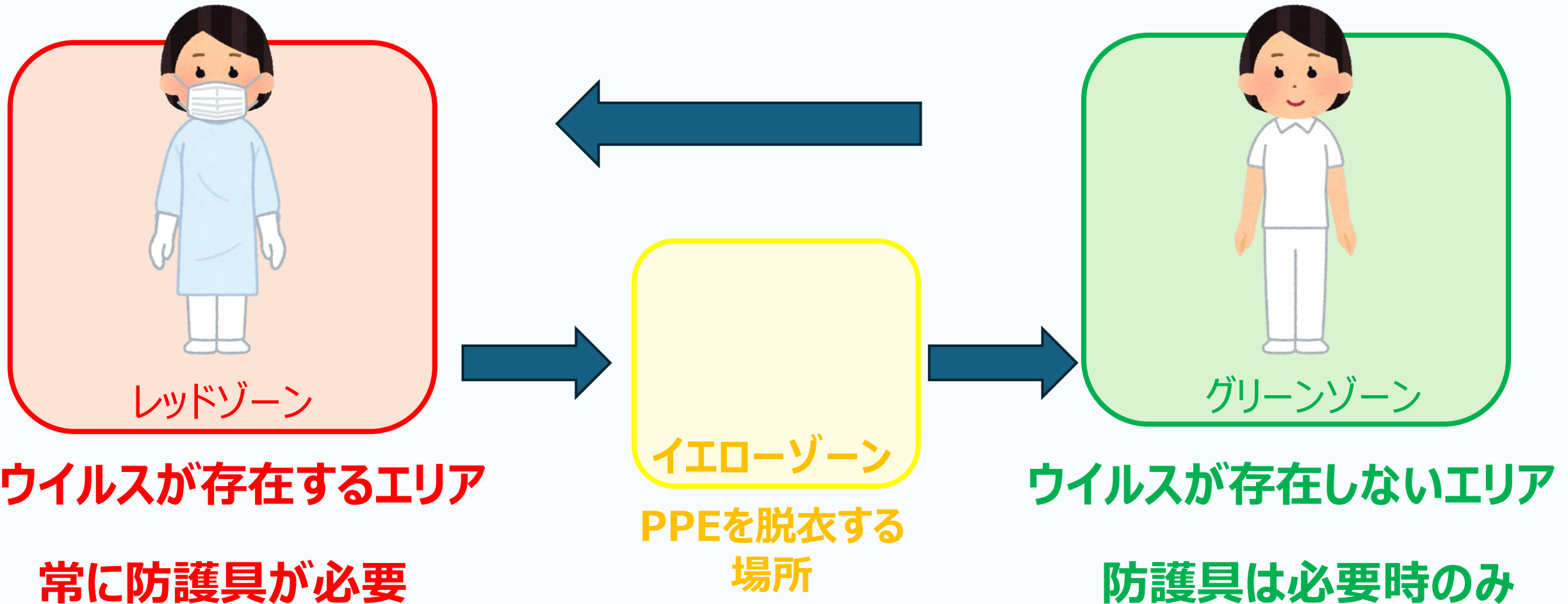
ウイルスが存在しないエリア

ゾーニングを行う理由

- 感染経路を断ち、感染拡大を防止するため、ものや空間の汚染が考えられる時に行う
- 個人防護具を着ていない職員と動線が交差しないようにするため

ゾーニングの考え方

ウイルスはレッドゾーンで抑えて、グリーンゾーンには持ち込まない！



基本の考え方をもとに施設ごとで考える

ゾーニングの方法を平時から検討しておく。

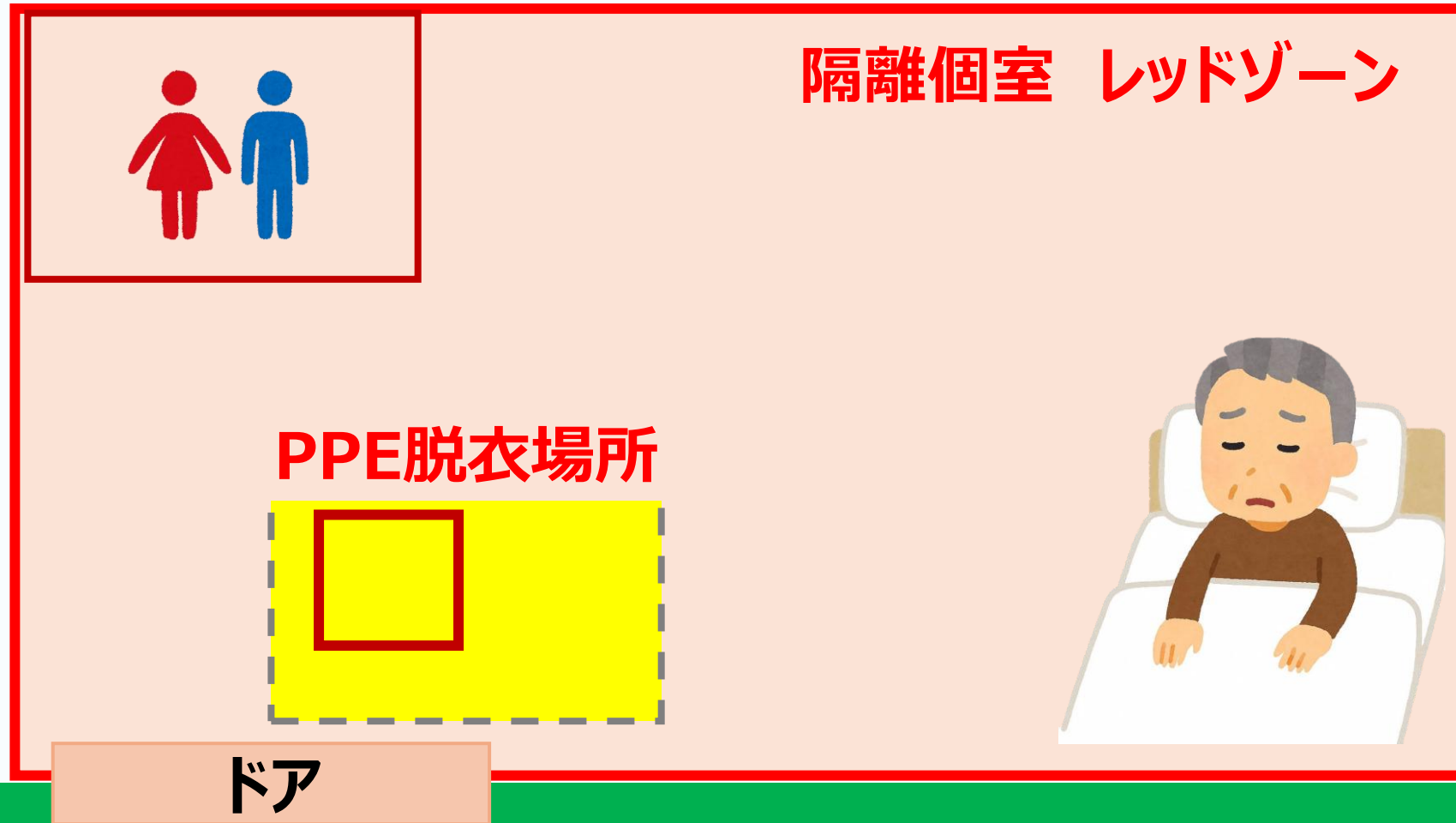
- ・個室でのゾーニング
- ・多床室でのゾーニングなど

陽性者を確認した場合

- ・陽性者を個室対応することはできるか
 - ・陽性者だけを一つの区画まとめられるか
 - ・職員全員が同じ認識で対応することができるか
- レッドゾーンはどこまでか。 ⇒ **情報共有**



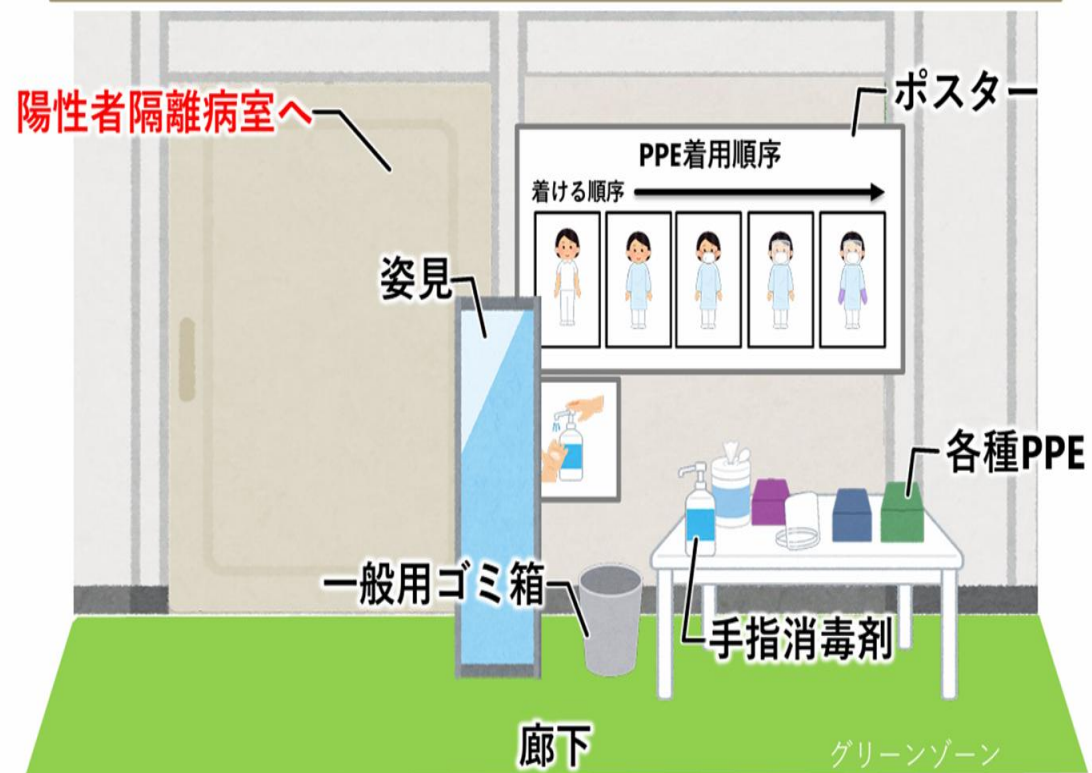
個室の場合



廊下 グリーンゾーン

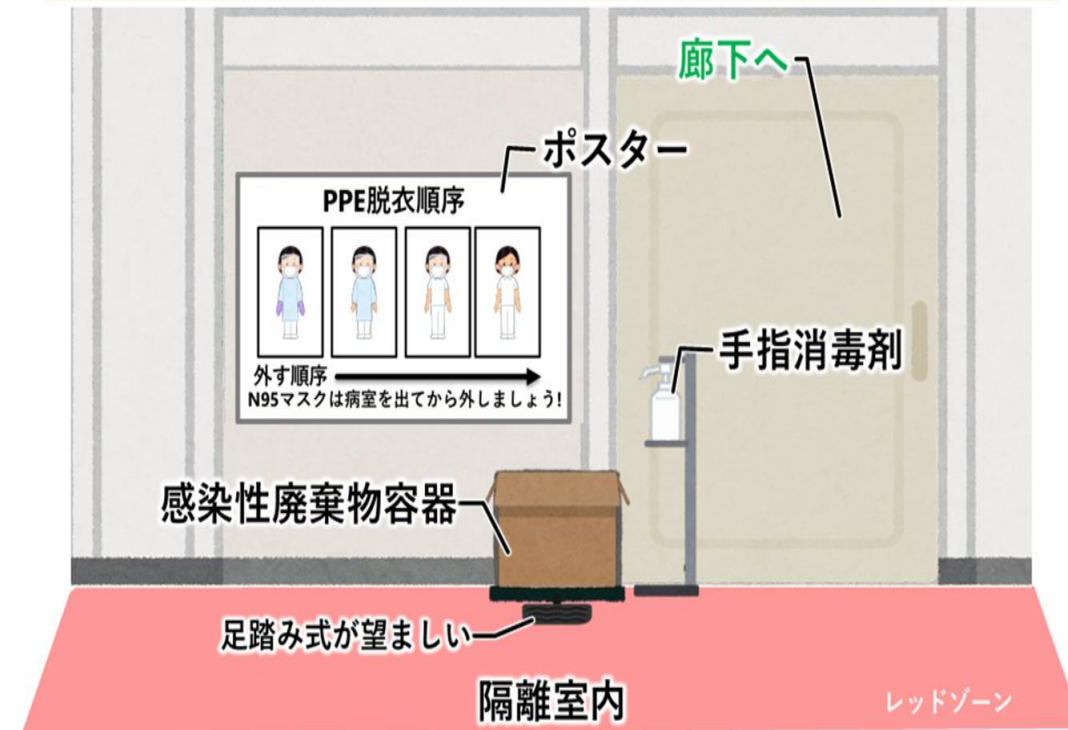
PPE着用場所

PPE着用場所の例



東北感染制御ネットワーク

PPE脱衣場所の例



※ このエリアは、レッドでもイエローでもよい

東北感染制御ネットワーク

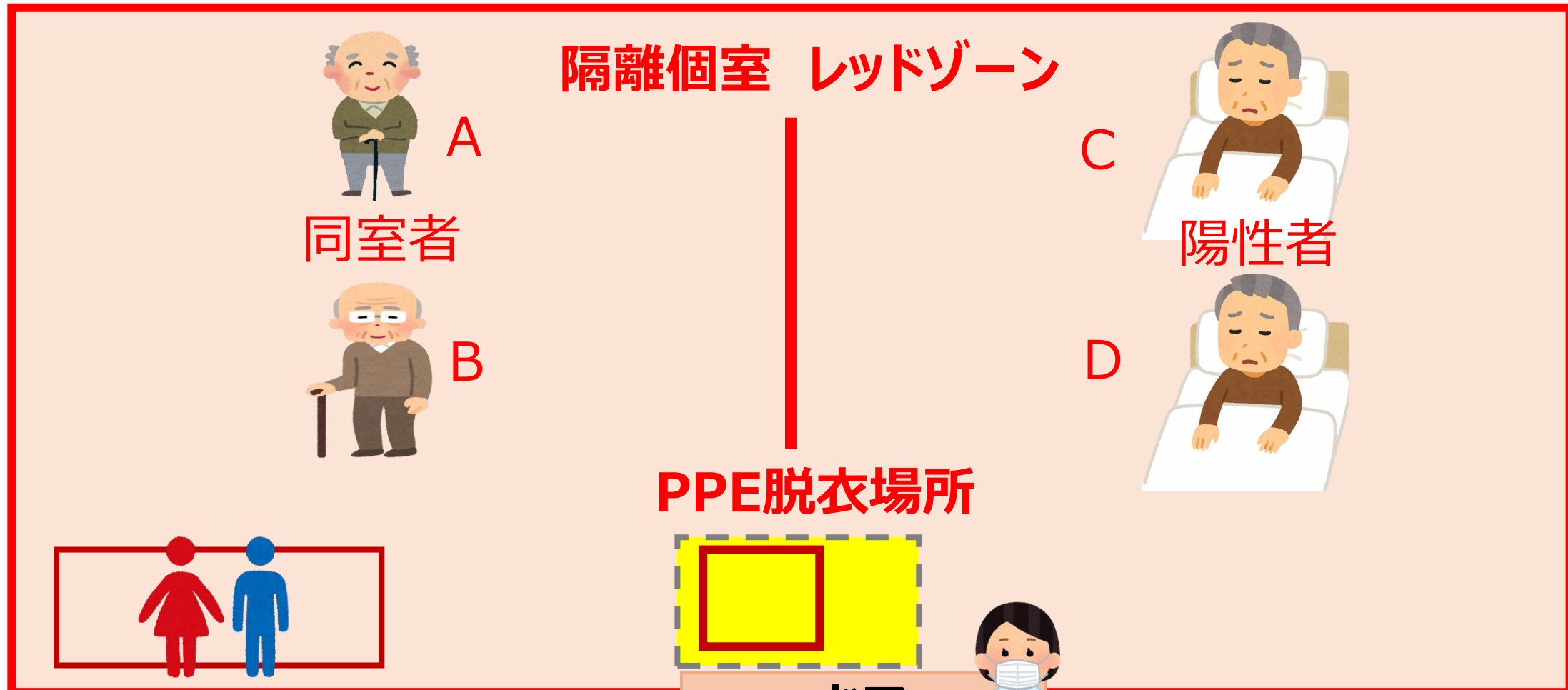
4人部屋の場合



廊下 グリーンゾーン

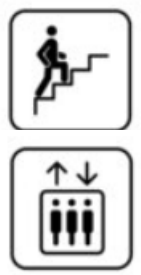
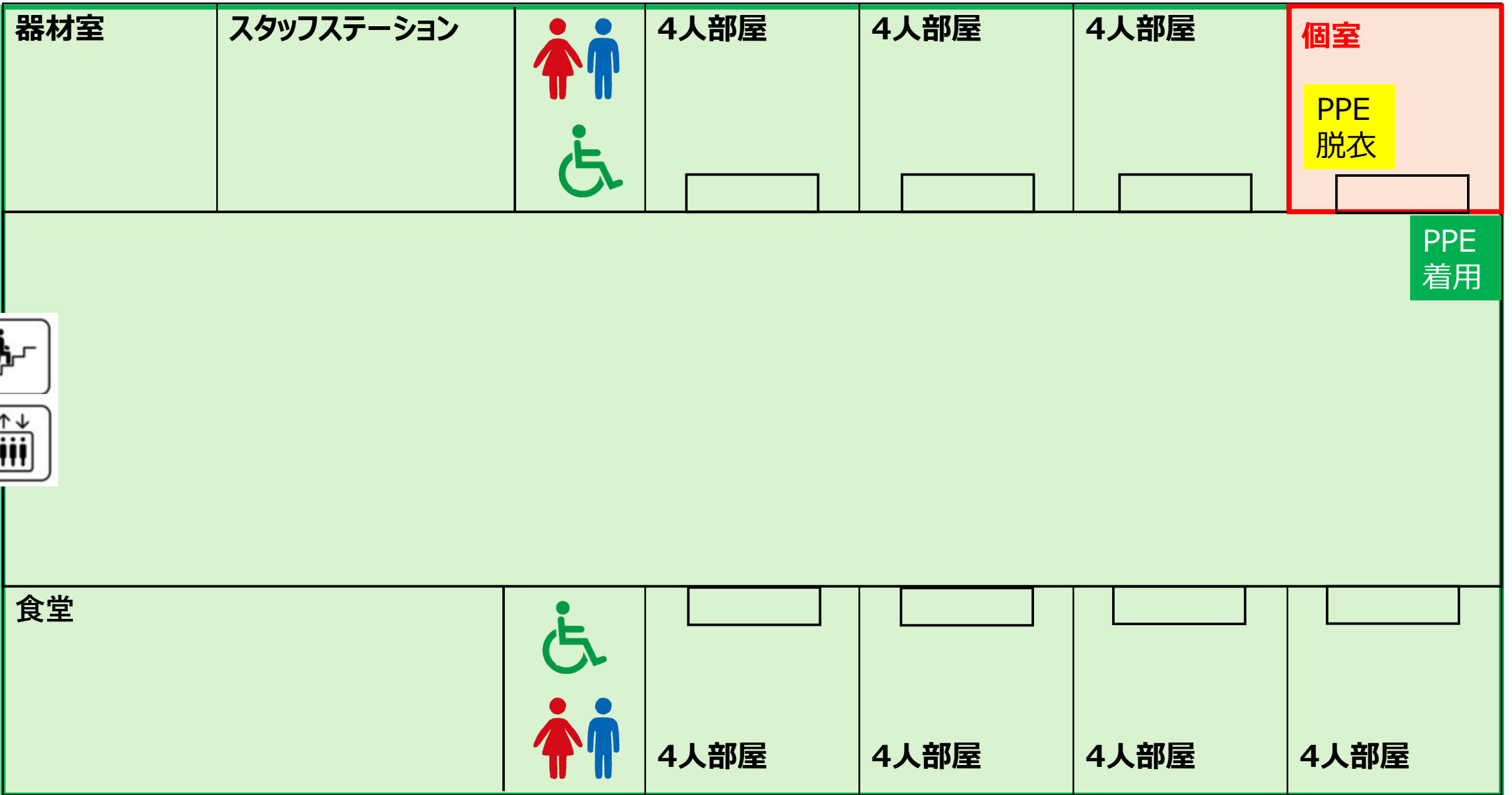
PPE着用場所

4人部屋の場合 2人陽性者



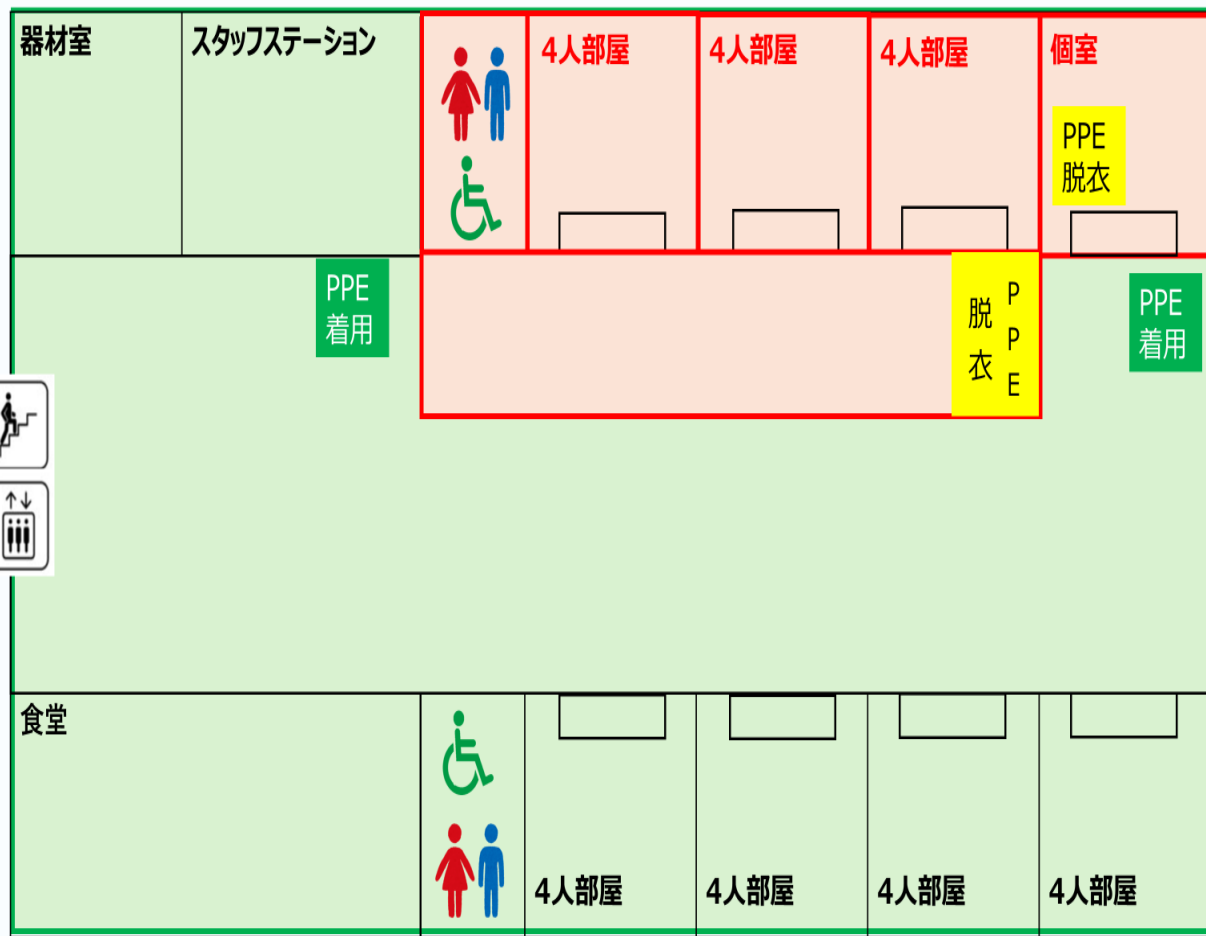
廊下 グリーンゾーン

PPE着用場所



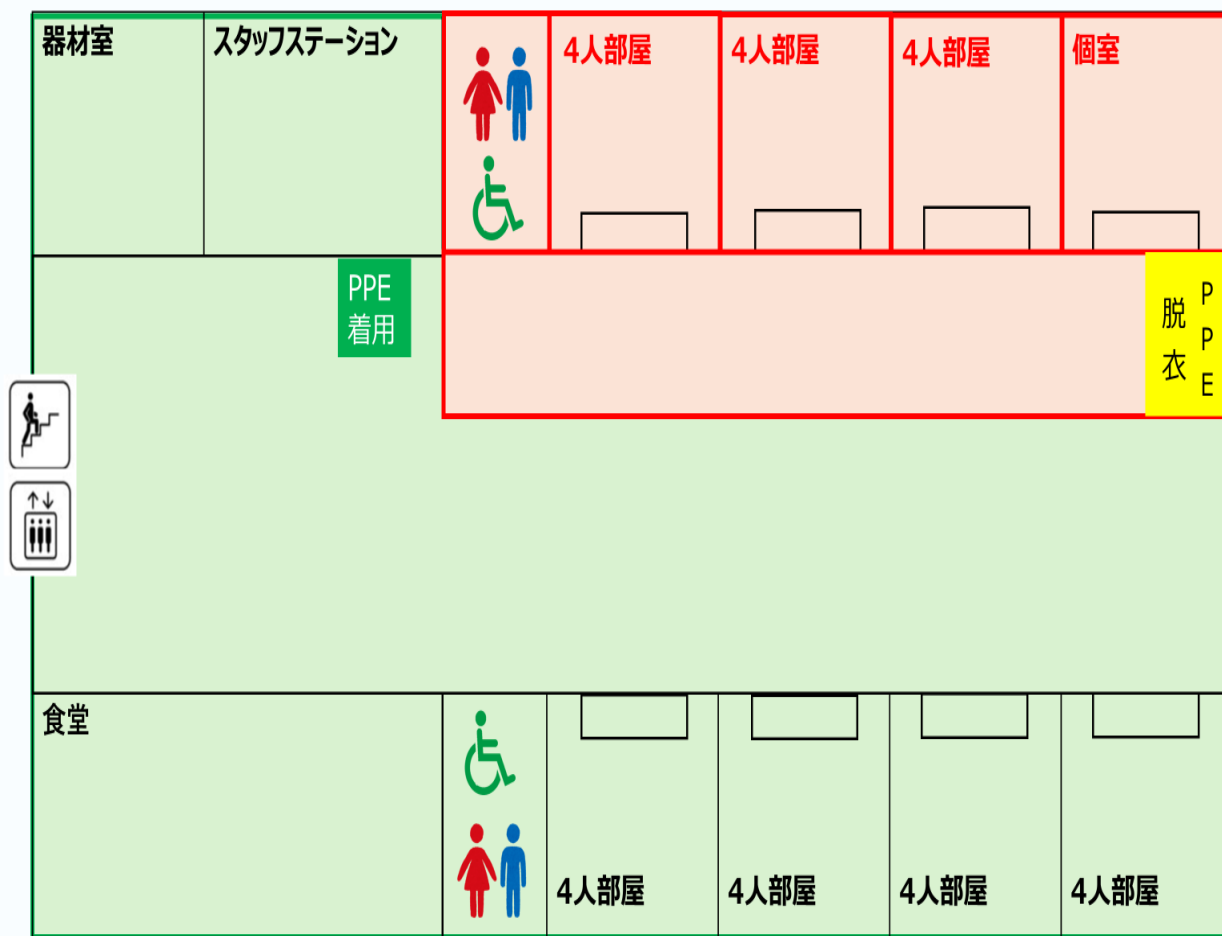
個室隔離

パターン①



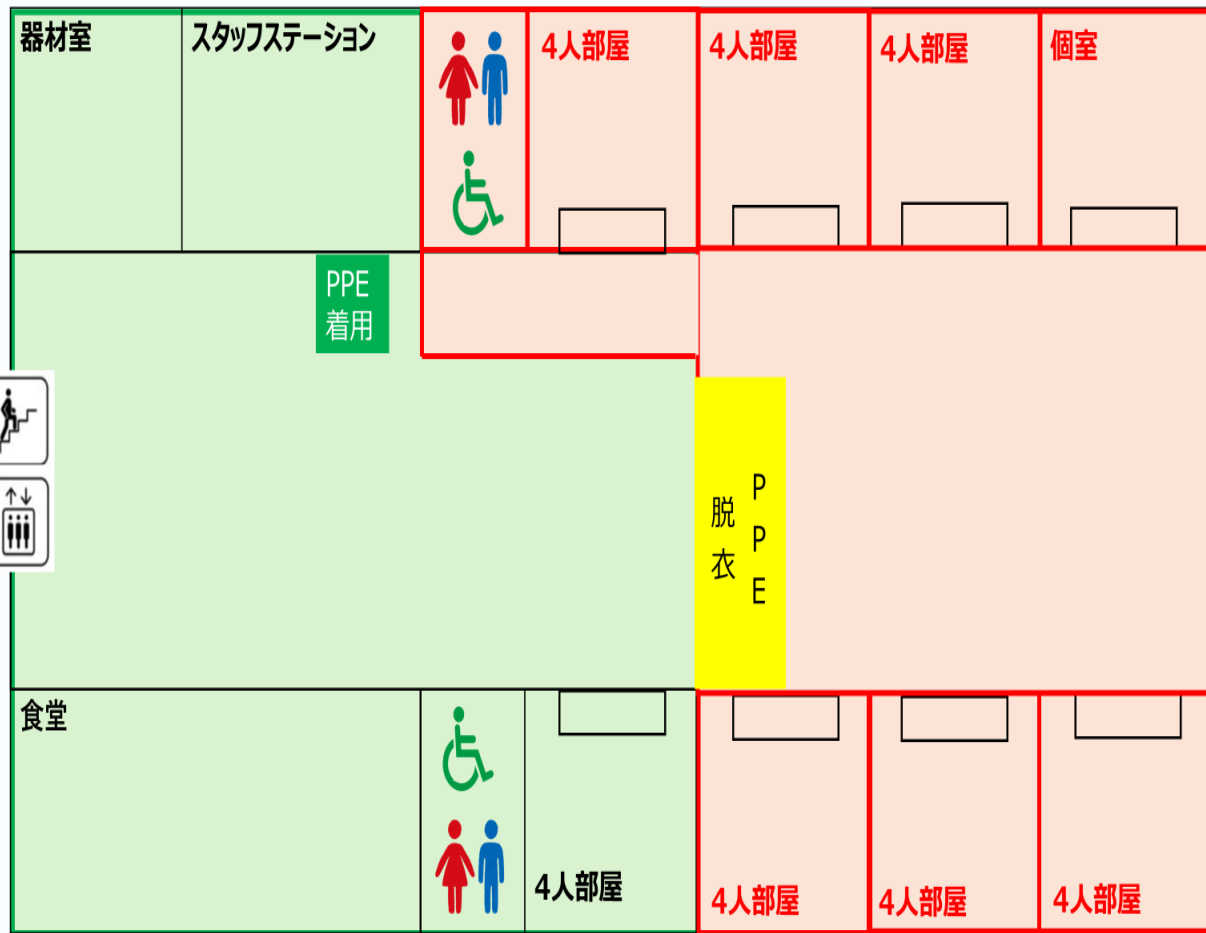
陽性者増加している場合①

パターン②



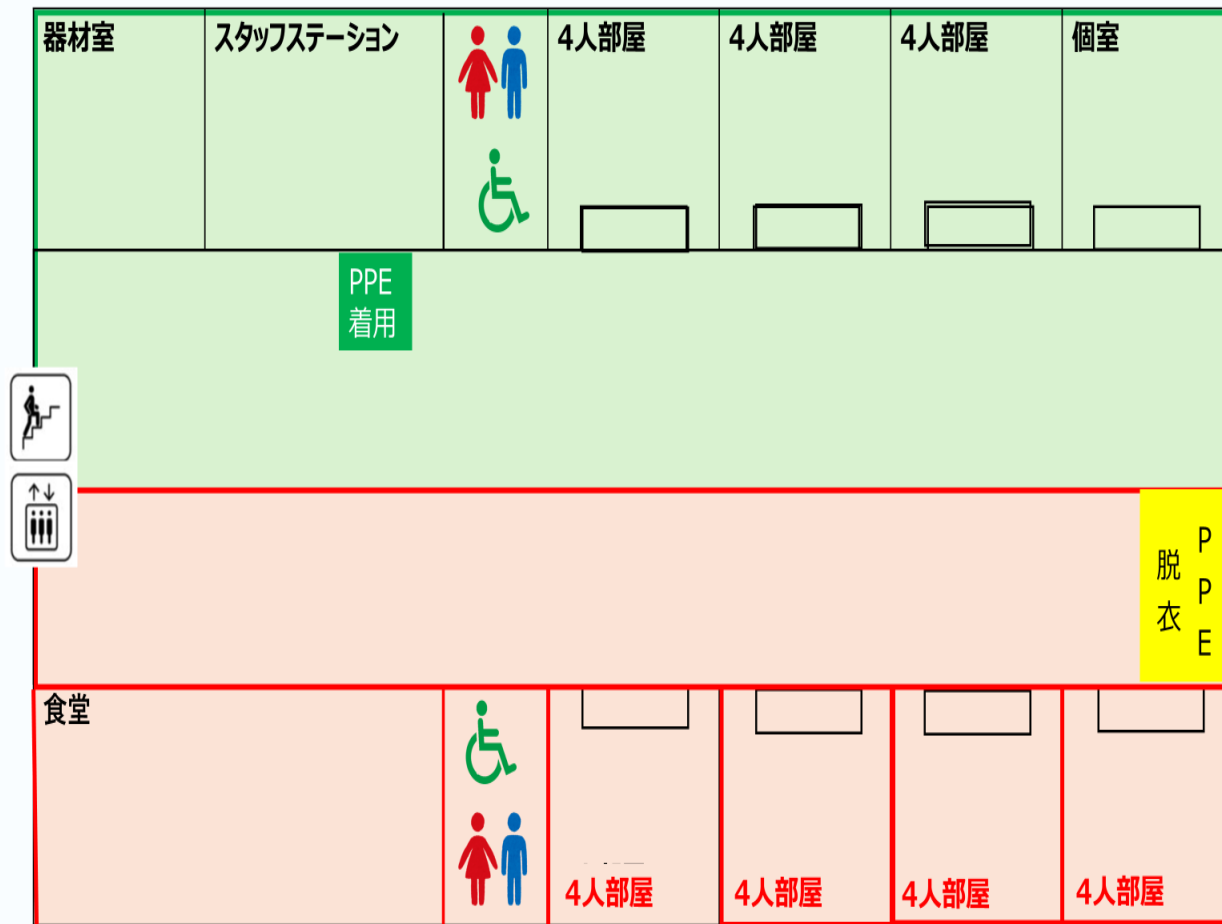
陽性者増加している場合②

パターン③



陽性者増加している場合③

パターン④



陽性者増加している場合④



最後に

感染対策の鍵は“**初動の早さ**”。

その初動を支えるのは、**平時からの準備と備え**。

日頃のマニュアル整備や**情報共有**が、有事の確実な対応につながる。

